

（午前10時45分 再開）

○議長（石橋英和君）休憩前に引き続き会議を開きます。

日程に従い、一般質問を行います。

順番8、14番 中本浩精君。

〔14番（中本浩精君）登壇〕

○14番（中本浩精君）議長のお許しを得ましたので、通告に従いまして一般質問をさせていただきます。

このたび前畑秀子氏生誕100周年事業に、橋本市民プール内にサブプールを建設されてはどうかということで、質問させていただきます。

去年の12月議会におきまして、前畑さんの生誕100年記念イベントを開催ということでご質問させていただいております。今回は、一步踏み込んで質問をさせていただきたいと思っております。

といたしますのは、昨日そしてきょうと、多くの同僚議員の皆さまが、これから橋本市をPRしていくことが非常に大切だよという質問をしていただいたと、私は受けとめております。

そういった中で、2015年紀の国わかやま国体が開催されます。高野山開創1,200年も近づいております。そして、日本では56年ぶりに2020年東京オリンピック、パラリンピックの開催が決定いたしました。今こそ橋本市をPRする絶好のチャンス到来だと、私は思います。

今回の質問をさせていただくにあたりまして、私だけが勝手に思っているかもわかりませんが、ものすごい強いフォローの風が吹いていると思います。フォローの風を信じつつ、

熱い思いのボールをど真ん中めがけて投げますので、熱いご答弁のバットで、思い切り打ち返していただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

それでは、質問に入らせていただきます。

市内には、念願でありました宿泊施設が、紀見伊荘の営業をはじめルートインの建設等、かなり充実してまいりました。これからは、橋本市へ1人でも多くの方々に来ていただき、宿泊していただくことをさまざまな方面から方策を考え、橋本市をPRしていかなければならないと思っております。

例えばスポーツの分野で考えますと、当市はオリンピックの水泳競技におきまして、お二人の金メダリストを輩出しております。知名度においてずば抜けている前畑氏、古川氏を前面に打ち出して、橋本市をPRしてはいかがでしょうか。

折しも、来年、前畑氏生誕100年を迎えます。記念事業として、市民プール内の競泳用プールでさまざまな大会が開催できるよう、サブプール建設などを整備していただくとともに、一過性の記念事業ではなく、橋本市全体で橋本市にしかないストーリーを、じっくりと腰を据えて前畑氏生誕100年の年を有意義なものにさせていただきたいと、私は思っております。

そうしていただくことがおもてなしの精神で、住んでよし、訪れてよし、橋本市の実現に一步近づくと思っております。一步近づくとすることは、これからのまちづくりに必ずプラスになると、私は確信しております。

そういった観点から、以下の内容についてご質問をいたします。

一つ目、前畑氏生誕100年記念イベント等何

かお考えですか。

二つ目、県内で公認プールは何カ所ございますか。

三つ目、仮にサブプールを建設するならば、予算はいくらぐらい必要ですか。

四つ目、サブプールができれば、合宿、大会等で経済効果が望めると思いますが、いかがですか。

五つ目、橋本市へ多くの方が来ていただくために、さまざまな方面で何か方策を考えておられますか。

六つ目、水泳を通して橋本市をPRできませんか。

以上、壇上からの質問を終わらせていただきます。よろしくお願ひします。

○議長（石橋英和君） 14番 中本浩精君の市民プールへのサブプール建設に関する質問に対する答弁を求めます。

教育次長。

〔教育次長（坂本安弘君）登壇〕

○教育次長（坂本安弘君） 前畑秀子生誕100年記念事業の取り組み状況についてお答えします。

来年5月に生誕100年を迎える橋本市名誉市民前畑秀子さんの業績を紹介する展覧会を、橋本市郷土資料館の企画展示や秋の学びの日のイベントなどを通じて行う予定です。また、名古屋市にある前畑さんの母校椋山女学園大学の椋山歴史文化博物館や橋本まちかど博物館でも、前畑氏生誕100周年記念展が予定されており、この2館から橋本市郷土資料館に、3館合同企画展を開催してはとのご提案をいただき、検討しているところでございます。

また、毎年橋本市内学童を対象に、橋本市教育委員会と橋本市水泳協会が共催で開催している前畑秀子・古川勝記念大会では、来年が前畑生誕100周年のメモリアルイヤーということで、橋本市ゆかりの元オリンピック水

泳選手の招待や、前畑生誕100年にちなんだ参加記念品の配布などを橋本市水泳協会に提案し、協議する予定です。

次に、県内の公認プールの数についてお答えします。

県内の公認プールの合計は八つです。内訳として、25mプールはかつらぎ公園町民プールなど5カ所、50mプールは橋本市運動公園プールなど3カ所となっています。

○議長（石橋英和君） 建設部長。

〔建設部長（松浦広之君）登壇〕

○建設部長（松浦広之君） ③仮にサブプールを建設するならば、予算はいくら必要ですかについてお答えします。

既存の50mプールの西側に25mのウォーミングアッププールのみを建設した場合、あくまで概算ですが、約7,000万円の費用が必要になると考えられます。

ただし、横幅は13m程度のもので、それ以上の大きさや他の施設が必要となった場合は、この概算額を上回るものと考えられます。

○議長（石橋英和君） 経済部長。

〔経済部長（大倉一郎君）登壇〕

○経済部長（大倉一郎君） サブプールができれば、経済効果を望めるのかのおただしについてお答えします。

橋本市民プールにサブプールが建設され、近畿地区などの大規模な大会開催や学生の合宿などを誘致することができるようになると、選手、関係者など数百人規模で本市を訪れる機会が想定できます。

サブプール建設費との費用対効果また評価は別として、市内での宿泊、食事、物販などの消費活動により経済効果が見込まれるものと考えます。

また、温かなおもてなしをすることで、橋本市に良い印象を持っていただき、友人や家族を連れてリピーターとなっていただく動機

になるのではないかと期待できます。

次に、前畑秀子氏生誕100年に合わせて、本市に来ていただくための方策についてお答えします。

現在、世界でもトップクラスの競技力を誇る日本水泳の礎を築いた人物の偉業の出発点であり、日本人初のオリンピック女性金メダリストを輩出した橋本市であることを広く認知していただくよう、メディア等を通して情報発信してまいります。

また、日本人の多くが知っている「前畑頑張れ」のフレーズをブランド化して、経済団体や民間事業者の協力を得て、地場産品の商品化につなげていけるよう検討していきたいと考えています。

次に、水泳を通じて本市をPRできるかについてですが、4年の一度のオリンピックの際、日本の得意種目である水泳競技で好成績をおさめるたびに、前畑氏の金メダル獲得の映像がテレビで放映され、強く人々の印象に残っています。

また、前畑氏とともに古川勝氏の2人のオリンピック金メダリストを輩出したことは、郷土の誇りであり、その偉業や足跡をメディア等を利用して広く紹介することや、水泳のまちとして橋本市をPRすることが、やがては企業誘致や商工観光振興、定住促進など幅広い分野で経済効果につながるものと期待しています。

○議長（石橋英和君）14番 中本浩精君、再質問ありますか。

14番 中本浩精君。

○14番（中本浩精君）どうもご答弁ありがとうございました。再質問に入らせていただく前に、前畑秀子さんは、オリンピックの水泳競技の中で日本人女性初の金メダリストでございます。それと、全国的にも8月11日には前畑さんが金メダルをとられた「前畑頑張れ」

の有名な日なんですけど、ガンバレの日と全国的にもなっております。

橋本市は、前畑・古川さんの記念水泳大会、それも市内の小・中学生を対象にされているだけです。今年は、前畑さんの母校の椋山女学園の生徒が来ていただいて、一緒に大会に参加されたりとかしておりましたが、今経済部長もおっしゃっていただいたんですが、名誉市民の方ですし、全国的にも有名な方です。橋本市民は、8月11日、ガンバレの日、垂れ幕が市役所の玄関にさせていただいているという状況です。それをちょっと頭に入れていただいて、再質問に入らせていただきたいと思います。

まず1番、前畑氏生誕100年記念イベントを何かお考えですか。この答えはまず、去年の一般質問をさせていただいて、それ以後の今のところはこういう状況ですという受け止め方をさせていただいてよろしいですか。

○議長（石橋英和君）教育次長。

○教育次長（坂本安弘君）そのときに私が前向きに検討させていただくという答弁をさせていただいています。現状を今回の答弁でさせていただいたところでございます。

○議長（石橋英和君）14番 中本浩精君。

○14番（中本浩精君）ありがとうございます。

それと済みません。ちょっと一つ言い忘れたんですが、昨日の復唱になるんですが、4番議員がご質問されました、きのうちょっとややこしかったんですけど、愛称とか仮称とか通称とか略称とかいろいろ出てきたんですが、橋本市民プールを前畑・古川記念プールと、愛称をそういう形でご検討いただくということで、それはもうそれでよろしいんですか。

○議長（石橋英和君）教育次長。

○教育次長（坂本安弘君）きのうも申し上げましたが、既に市民プールもしくは橋本市民

プールという愛称、通称で親しまれておりまして、もうかなりの年数も過ぎておるところでございます。

これを、定着しておる通称なり愛称というのが、新たに生誕100年ということで、例えば前畑・古川記念プールということで、市民の皆さんもその愛称を使っていこうということであれば、そういうことは可能であると考えております。

○議長（石橋英和君）14番 中本浩精君。

○14番（中本浩精君）ありがとうございます。

ぜひご検討のほど、よろしく申し上げます。済みません。それでは、今1番でいろいろご答弁いただいたんですが、展示をするということだと思えます。それも、そういう展示を開催してはどうかということで、資料等の兼ね合いとかもあると思うんですが、そういうことだと思えます。

ただ、今ご答弁を聞かせていただいた中では、橋本市独自性というんか、独自で何かを取り組んでいこうよという姿勢がちょっと見えてこないような気がするんです。

それで、全国に発信しようと思えば、まず市民の皆さまにやっぱり幅広く周知していただくことが、非常に大切だと思えます。やはり知名度はかなりあると思うんですが、何といってもかなり前の話ですんで、やはり今の若い市民の方々とかに、前畑秀子さんというのはこういう方やったんやということを、市民に幅広く知っていただくためにも、生誕100年を契機に本当により多くの皆さんに前畑さんの偉業を知っていただくために、今指定管理先である橋本市文化スポーツ振興公社と、生誕100年記念事業に向けまして、いろいろと協議していただいたらありがたいと思うんです。

というのが、また後ほど言わしていただきますけど、もう教育委員会だけで考えるんじ

ゃなくて、やはり盛り上がりも大事だと思うんですが、これはちょっと一回みんなでいろんなアイデアを出したりとか、職員の中からもアイデアを出していただいたりとか、そういうこともちょっと視野に入れて、まだちょっと時間がありますので、ご検討していただければありがたいと思いますので、要望として言わせていただきますので、どうかよろしくお願いいたします。

次に、2番に行かせてもらいます。

県内に50mプール以上で3カ所あると。秋葉山と新翔高校と、ほんで橋本市の市民プールだと思います。

私が言いたいのが、秋葉山は別としてでも、新翔高校はちょっと紀南のほうですんで、3カ所しかないんです、50mの公認プール。せっかくそういう公認プールで、県内でも少ない。僕とすれば、有効利用できないかという考えなんです、どういうお考えでございますか。

○議長（石橋英和君）教育次長。

○教育次長（坂本安弘君）今年度は、たまたま秋葉山の県営のプールがリニューアル工事ということがございまして、県の中体連を橋本市民プールで開催したところでございます。

今後ともそういった機会をとらえて、大きな大会を考えておるんですけれども、かなり秋葉山のほうがスケールの大きなプールが完成いたしましたので、今後とも誘致には努めてまいりますけども、大きな大会をとるのはなかなか難しいところはあるのかなと思えます。

ただ、それも一つですが、もう一方、経済部長のほうで答弁のありました大学ですとかの合宿とか、そういったほうの誘致にも力を入れていきたいなと考えております。

○議長（石橋英和君）14番 中本浩精君。

○14番（中本浩精君）ありがとうございます。

なかなかやはり有効利用するとすれば、またそれなりの設備なりかかると思いますので、仕方ないことだと思います。

そういう話が、次、3番、4番と続きますんで、3番、4番続けて両方で再質問させていただきたいと思うんですが、サブプールを仮に建設するならば、予算はプールだけで7,000万円ほどかかりますよというご答弁をいただきました。

もちろんこれは今はプールだけの予算です。もし仮にプールをつくるとなれば、またトイレとかロッカーとかいろいろな附帯施設といえますか必要とはなってくると思うんですが、やはりそれなりに予算はかかりますよということで、理解しております。

ただ、先ほどもおっしゃってくれたんですが、サブプールがあれば、やっぱり合宿とか大会とかで経済効果は望めるよと。橋本市へ来ていただく方々が1人でも多くなるということも間違いなことだと思います。

それで、ストレートに聞くんですけど、サブプールを含めてそういう市民プール内に建設されるというんか、市単独事業でしていただくことは、考えていただく余地はありますか。それとも、ありませんか。

○議長（石橋英和君）建設部長。

○建設部長（松浦広之君）中期の財政計画のほうをお示しさせていただいております中で、非常に厳しい財政状況の中での各種やりくりということになりますので、市単独費でこれだけのということになりますと、現段階では不可能に近いのではないかなと考えます。

○議長（石橋英和君）14番 中本浩精君。

○14番（中本浩精君）思い切り真っすぐ投げたんですけど、思い切り空振りされてしまいました。だいたいもう思っていたんです。

そしたら、実はお願いしたいのが、ここからなんです。

といいますのは、きのう同僚議員も運動公園の見直しということで質問されてました。また後ほど野球場についてということで、同僚議員が質問していただきます。

そういう中で、先ほどもおっしゃってくれたんですけど、前畑さん、古川さん、記念大会が、来年はそうやってちょっと今まで以上に裾野を広げて、多くの方々に来ていただくということを考えていただいているんですけど、それこそ近畿大会以上になると、サブプールがあるのが望ましいとなっております。

そういう状況の中で、なかなか今年言うて、来年プールができるとは難しいと思いますし、不可能な話だと思います。ただ、来年、前畑さんの生誕100年を契機に、きのうもご答弁いただいておりますが、社会資本整備ということで、建設課の中で計画係があると、12月議会でもご答弁いただいてわかっておるんですが、きのう経済部長が現場サイドでの提案ということもおっしゃってくれていたんですけど、実際現実的に今現場サイドの提案とか、どういう何かありますか。全然何もありませんか。

○議長（石橋英和君）建設部長。

○建設部長（松浦広之君）橋本運動公園全般につきましては、建設は当時の都市計画課のほうで建設し、管理につきましては教育委員会のほうで文化スポーツ振興公社のほうへ指定管理ということで、現在管理しております。

そういった中で、現在の管理運営の中での発案から、まずはこういったことが議論になってくるのかなとは思いますが、現在のところこのサブプールについてはそういったテーブルにのせて云々というところまでは、一切至っておりません。

○議長（石橋英和君）14番 中本浩精君。

○14番（中本浩精君）予算が絡んでくる話ですんで、本当に大変だと思います。いろいろ

一般質問させていただいても、本当に財政状況が厳しいと、きのうの一般質問のご答弁を聞いている中でも、これからますます財政状況が厳しくなると。そういう中で、橋本市をPRしていこうという動きになっていると思うんですが、先ほども言いましたけど、生誕100年を契機に、社会資本の整備ということで運動公園の見直しということで、一回まないたの上ののせて、ご検討しているんですか、できるできないかはいろいろ補助金の問題とかあると思うんですけど、まないたの上ののせてご検討していただければありがたいと、要望ということでよろしくお願ひしたいと思います。

次に、5番、6番と質問をさせていただきます。

先ほど経済部長のご答弁の中で、4年に1回オリンピックがあると。そのときに、メディアのほうからそういう前畑さんの映像を映したりとかというご答弁をいただいたんですが、問い合わせというのはありますか。前畑さんの何かについてとか、メディアのほうから何か問い合わせとかありますか。

○経済部長（大倉一郎君）私、今経済部長をさせていただいてからは、前畑さんの問い合わせは私は受けたことはございません。

○議長（石橋英和君）14番 中本浩精君。

○14番（中本浩精君）そういう問い合わせを今まで受けたという経験はございませんかね。ないですか。前畑さんのことで何か橋本市からいろいろ資料を提供していただきたいとか、ないですか。

○議長（石橋英和君）経済部長。

○経済部長（大倉一郎君）先ほど私答弁させていただきましたけども、私が経済部長をさせていただいたからは、私のほうへメディアのほうからは問い合わせは受けてはないんですけども、過去に商工観光課のほうでメディ

アの関係について問い合わせを受けたかどうかは、後ほど商工観光課のほうに聞きまして、ご答弁させていただきたいなと思います。

○議長（石橋英和君）14番 中本浩精君。

○14番（中本浩精君）そしたら、今の件は後ほどまたご連絡いただくということで、それで、特に5番なんですけど、あまりさまざまな分野を言いますと通告外になりますんで、橋本市へ本当に多くの方々に来ていただくために、私とすれば前畑さん生誕100年の記念イベントを教育委員会だけのイベントとして捉えるんじゃないかと、先ほども申し上げましたけど、生誕100年が節目の年として、それを契機に橋本市をPRすることを考えていただきたいと思っているんです。

橋本市全体のイベントであるとともに、地域資源を活用したまちづくりに貢献できる絶好のチャンスだと、機会であると思います。そういうまちづくりの観点という意味からも、企画部長、きのう、PRする決め手がないというご答弁があったと思うんですけど、この前畑さん生誕100年をどういうふうにさせていただくかは、それこそ職員の有志の方のアイデアを募集していただいたりとか、きのうもご答弁いただいたHMP48、まちづくりプロジェクトの中で、これを一回どういうふうな感じで位置づけていうんですか、考えていただくかというのを、もし答えられる範囲で結構ですんで、答えていただいたらありがたいと思います。

○議長（石橋英和君）企画部長。

○企画部長（森川嘉久君）先ほど経済部長のほうからも水泳のまち橋本という答弁もさせていただいたんですけども、ここらあたりでオリンピックも決まりましたんで、橋本市から新たな金メダリストが出たりすると、大変それはもう効果抜群という形になるんですけども、残念ながらちょっと今のところ強化選

手ということも聞きませんし、そういうことは望むべくもないのかなと思うんですけども、水泳協会も大変力を入れていただいているので、頑張っただいてはおるんですけども、なかなかそういう環境にはないとは思いますが、オリンピックが決まりましたので、本当に前畑さんにまた脚光を浴びる可能性が十分出てきました。

その中で、議員ご指摘のとおりHMP48で、橋本ナンバーワン計画というのもやっていますんで、本当にいい機会がめぐってきたなと考えております。具体的にその振り出し方なんですけど、先ほどからいろいろ教育委員会のほう、それから経済部のほうも答弁をさせていただいておるんですけども、ちょっと今までの踏襲といいますか、継続的な事業ばかりでございますが、ここは若手職員が今いろいろ考えておりますんで、斬新なアイデアで、来年はもちろん記念事業の年にはなるんですけども、それ以後もオリンピックもありますので、できるだけそういうことで橋本市を売り出していけたらとは思っております。具体的に今のところ、どんなことっていうのはないんですが、若手職員のところへ一度投げまして、斬新なアイデアを求めていきたいと考えております。

○議長（石橋英和君）14番 中本浩精君。

○14番（中本浩精君）どうもありがとうございます。

要望ですけど、ぜひイベントじゃなくて、そういうきっかけといいますか、そういうことでお考えいただきたいと思います。

○議長（石橋英和君）経済部長。

○経済部長（大倉一郎君）先ほど議員のおただしの中、メディアからの過去に問い合わせが何かありましたか、何度かありましたかというおただしがあったんですけども、2000年9月6日、NHKでテレビ放映がされてお

ます。2000年ですんで、大分前の日になるんですけども、「前畑ガンバレ～ベルリンオリンピックの光と影～」という題で、2000年にNHKで放映されています。

また、ドラマで「前畑がんばれ」、1991年10月10日、これもNHKですけども、テレビ放映がされたときには、メディアからの問い合わせが何度かあったということでございます。

以上です。

○議長（石橋英和君）14番 中本浩精君。

○14番（中本浩精君）どうも、部長、ありがとうございます。

なんでちょっとしつこく聞かせてもらったかという、メディアから仮に問い合わせがあれば、これほどありがたいことはないか、もう絶好のチャンスやと僕は思うんです。それこそ、日本人女性の金メダリスト、水泳で第1号ですから、そのふるさとを訪ねてとかオリンピックの女性の金メダリストの方がふるさとを訪ねてというナビゲーターになっていただいて、そういう企画というか特番でもまた組んでくれるチャンスがあればね。これも見させてもらったんですけど、観光協会でもすばらしい、このまん福なびという。これを見させていただいたら、本当に橋本市のよさというんですか、かなり集約させていただいております。いろいろこの中でもお聞きすると、河南地区のほうで織田信長の孫のお墓があるとか、もちろん人魚のミイラとか、恋野へ行ったら中将姫伝説とか、そういうロマンスストーリーというのかそういうのもまたありますし、それこそ観光、観光で言いますけど、そういうのをやっぱりつくっていかんとだめだと思うんです。

そういうことで、この前畑さんのいろいろ水泳を通して絡ましながらしていただきたいというのが、一番のあれです。経済部長もおっしゃってくれたんですけど、経済界は経済

界でお声かけしていただいて、さまざまなご意見をいただいたりとか、それを行政がやっぱり前面にいろいろメディア等を通してやっていていただければありがたいと思いますので、これも要望になりますけど、どうかよろしくお願いいたします。

それと、前畑さんが紀の川で練習したときに、飛び込みに利用した飛び込み石というのがございます。護岸工事で残していただいておりますが、観光資源として、それこそ前畑さんのそういう何か橋本市でもPRできる一つの方策として、観光資源として考えていただきたいと思うんですが、いかがですか。

○議長（石橋英和君）経済部長。

○経済部長（大倉一郎君）今議員のほうからおただしがありました飛び込み石が、私もちょっと現場のほうを見たことはございません。橋本市の観光資源として、多いに利用していきたいと考えております。

○議長（石橋英和君）14番 中本浩精君。

○14番（中本浩精君）一度いろいろとご検討いただいて、やはりそういうせっかく前畑さんにゆかりのあるといいますか、市内であることを、それこそ生かしていただいて、前面に、前にPRできる一つとしてご検討いただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

最後になるんですけど、何回も言うて申しわけないんですけど、私は前畑さん生誕100年を契機にさまざまな方面から橋本市をPRしていただくことが、市長が常日ごろおっしゃっていただいている住んでよし、訪れてよしの橋本のまちづくりの実現に必ずつながっていくと思うんです。

そういう中で、最後に市長、申しわけないですが、前畑生誕100年を市長はどのように認識されて、どのような思いで取り組んでいただこうとしているのか、最後によろし

くお願いします。

○議長（石橋英和君）市長。

○市長（木下善之君）私のほうへ回ってきたわけでございますので、サブプールの問題ですけども、これだけでできれば近畿大会や多くできるかというとなかなかそうはいかんと思うんですよね。大阪にもたくさんのプールがひしめき合っとなるわけでね。まず、そうすりゃ観覧席もやっぱりある程度しないと、そんなもんどこから見るんよとなってきますわな。ほんで、近畿大会とか大人の人の大会というたら、もう全部全天候型ですな。あんな雨降っとなるときに試合するんでというわけには、ああいうプールで泳いででもやっぱり具合悪いようで、やっぱりそうなってくると、次々そういうようなもんをしていかないかんということになってくるわけでございますし、県には秋葉山の、これは全天候型の立派なものをできたわけでございますし、そういう近畿地方の試合というのと、どうしてもああいう秋葉山で、和歌山県でどこかというともう秋葉山になってしまうと思うんですよね。

小学生、中学生の大会でしたらいいと思うんですけども、財政的なこともあるわけでございますので、中本議員の発想は非常にいいと思うんですけども、今直ちにそれらに取り組んでいこうかというところまでは、やっぱり財政的にはちょっといかんと思うんですよ。サブプールだけと違いますからね。やっぱりいろいろのことを整えていかないかんという問題もありますので。

しかし、教育委員会からも話が出ましたように、前畑100周年ということについては、やっぱり市としてできる限りのことをしなければいけないと考えてございます。しかし、水泳ってそのものは12分の2カ月ぐらいですやろ。そこにも、私は弱い点がやっぱり思うてしょうがないんですよ。しかし、そんなこ

とを言うといったっていかんので、可能な限り取り組んでまいりたいと考えております。

○議長（石橋英和君）14番 中本浩精君。

○14番（中本浩精君）どうも市長、ありがとうございました。

ハード面は先ほどもお願いしましたけど、いろいろと運動公園の見直しということで、ハード面に関しましては今後いろいろとご検討していただきたいと思います。

それで、今市長おっしゃっていただいたんですが、来年の生誕100年に向けまして、ソフト面で皆さまでいろいろとお考えいただきまして、橋本市をPRできる何かの形をつくっていただけますように、よろしく願いいたします。

これで質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。

○議長（石橋英和君）14番 中本浩精君の一般質問は終わりました。